

2021 年度 事業 報告 書 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 Hope Tree

1 活動の目的

この法人は、がんの親をもつ子どもがより健康的に親ががんといい状況に対処していく能力を高めるため、支援する医療者等の育成・指導を行い、併せて親と子どもへの支援及び支援の重要性を広く普及啓発することで、がんの患者さんと家族がより不安少なく過ごせることに寄与することを目的とする。

対象者	アクティビティ (事業活動)	アウトプット (活動の結果)	アウトカム (活動の成果)	インパクト (社会の変化)
医療者	医療者等に対する育成及び指導	講座開催回数 講座受講者数 受講者の知識向上 受講者の意識変化	臨床現場での患者・家族への効果的な介入 サポートプログラムによる子どもの支援	がんの患者さんと家族がより不安少なく過ごせる社会の実現
がん患者とその家族	がんの患者・家族に対する支援	プログラム開催回数 プログラム参加者数 参加者の不安低減 参加者の意識変化	病気・治療の知識習得 患者・家族 QOL 向上 家族間の良好なコミュニケーション	
不特定多数の市民	普及啓発	情報発信数 イベント参加者数 ウェブサイト訪問数 小冊子読者数 動画視聴者数	がん患者やその子どもへの理解醸成・向上 教育現場や地域等での子どもへの関わり方の変化	

2 2021 年度事業の成果

がんの患者とその子ども・家族への支援を充実させていくための事業を行った。コロナ禍により対面開催の規模を縮小したり、感染状況に合わせてオンラインに変更したものもあった。オンライン開催により全国から多数の参加者を得て各地での支援の広がりに繋がっている。新聞やオンラインでの記事に取り上げられる機会もあり、がん患者とその子どもへの支援の大切さに対する認識が全国にも広がっている。

3 2021年度の事業概要

定款で定める事業	事業名	対象者	当年度状況
医療者等に対する育成及び指導に関する事業	CLIMB® (クライム) ファシリテーター養成講座	医療関係者	実施
	子どもをもつがん患者を支える実践ワークショップ	(医師・看護師・心理職・ソーシャルワーカー・CLS・HPS等)	実施
	子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援“バタフライ・プログラム”を学ぶ～ワークショップ		未実施
	オンラインケースカンファレンス (含む AYA ウィークでの集い)		実施
がんの患者・家族に対する支援事業	CLIMB® (クライム) 事業		がんの親とその配偶者、子ども
	体験版 CLIMB® (クライム) 事業	未実施	
	BlackRock Kids English Play Labo」	未実施	
がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業	Hope Tree フォーラム 2021 事業開催	不特定多数の一般市民	実施
	ホームページや動画配信での情報発信		実施
	小冊子による情報発信		実施
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	がん教育に関する当事者の意識調査	不特定多数の一般市民	実施

4 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 医療者等に対する育成及び指導に関する事業

ア A CLIMB® (クライム) ファシリテーター養成講座開催

内容	全国から自施設でCLIMB®開催を希望する医療者を対象とした2日間のワークショップ。子どもの発達段階の理論を踏まえたプログラム(親のがんにまつわる気持ちを話し合いや工作を通して表出し、自分一人ではないと感じることで孤立感を軽減することを目指す)を学び、実際にグループで6回のセッションを経験することで、自施設でもすぐに開催できるように養成する。		
日時	2021年10月2日～10月3日		
場所	アーバンネット神田カンファレンス	従業員人員	8人
対象者	医療者等 13人	費用	1,472,279円

ア B CLIMB® (クライム) 親グループファシリテーター養成講座開催

内容	CLIMB®親グループファシリテーター養成講座を初めて開催した。CLIMB®親グループは、がんである親自身が、子どもと向き合うことができるようになることを目的としたプログラムである。親グループファシリテーター養成講座では、親に対してこのプログラムを自施設で開催できるように養成する。		
日時	2021年11月13日～11月14日		
場所	御茶ノ水トライエッジカンファレンス	従業員人員	5人
対象者	医療者等 18人	費用	(アAを含む)

ア C CLIMB® (クライム) ティーンプログラムテキスト翻訳事業

内容	学童期の子どもを対象としたCLIMB®プログラムと並行して開催する思春期の子どもを対象としたティーンプログラムの開催方法をオンラインで学び、日本で教えられるようにテキストを翻訳した。		
日時	2021年10月～2022年2月		
場所	オンライン	従業員人員	1人
対象者	医療者等 100人	費用	346,705円

イ 子どもをもつがん患者を支える実践ワークショップ開催

内容	このワークショップでは、未成年の子どもを持つがん患者への具体的な支援の在り方について学ぶ。親ががん患者である子どもを支えるためには、まず親である患者の支援から始まる。患者との信頼関係の築き方、家族全体のアセスメント、子どもの年齢や病期に応じた介入について、事例検討、アクティビティを交えながら学ぶ。		
日時	2021年5月22日～23日		
場所	オンライン(配信はアーバンネット神田)	従業員人員	5人
対象者	医療者等46人	費用	833,898円

ウ 子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援“バタフライ・プログラム”を学ぶ～ワークショップ開催 (2021年度は非開催)

内容	子どもを持つ終末期がん患者・家族のアセスメントとアプローチ、子どもへの介入、医療者のグリーフなどを学ぶ。		
日時	コロナ渦により延期		
場所	オンライン	従業員人員	—
対象者	医療者等0人(来年度50人を予定)	費用	0円

エ オンラインケースカンファレンス開催

内容	医療現場でチャイルドサポートに取り組む参加者から寄せられた困りごと、振り返りたいケースなどを話し合い、解決の糸口を見つける。		
日時	2021年9月12日・2021年12月12日		
場所	オンライン	従業員人員	5人
対象者	医療者等7人(2回合計)	費用	15,550円

オ AYA ウィーク 2021 子育て世代の患者さんを支える医療者の集い

内容	AYA世代患者の中には、子育て真っ最中の方がおり、子どもを抱えながらがん治療に臨む際、多くの悩みを経験。その患者と子どもを支える配偶者も、特に患者の病状が進行してくると悩みも深化。そのような患者・家族を医療者はどのように支えるとよいのか、スタッフと参加者がオンラインで集い、子育て世代の患者を支える工夫を話し合う。		
日時	2022年3月8日		
場所	オンライン	従業員人員	4人
対象者	医療者等7人	費用	0円

② がんの患者・家族に対する支援事業

ア CLIMB® (クライム) 事業開催 (2021 年度は非開催)

内容	がんの親をもつ子どもとその親に対する心のケアを目的とするプログラム。子ども同士で不安や悲しみ等の気持ちに対処する方法について、工作をしながら話し合う。並行して、親同士で治療や日常生活の不安、子どもとの向き合い方について話し合う機会を提供する。		
日時	2021 年 8 月、2022 年 3 月 毎週日曜日全 6 回 (コロナ禍で中止)		
場所	東京共済病院	従業員人員	—
対象者	0 人 (来年度は、がんの親とその配偶者 10 人、子ども 10 人を予定)	費用	0 円

イ 体験版 CLIMB® (クライム) 事業開催 (2021 年度は非開催)

内容	がんの親をもつ子どもとその親 (遺族も含む) に対し、体験版の CLIMB® (クライム) を開催する。 本年度はコロナ禍により開催できず。		
日時	(例年は秋～冬)		
場所	東京共済病院	従業員人員	—
対象者	がんの患者・配偶者 (含遺族) とその子どもたち 0 人 (来年度は、7 名をを予定)	費用	0 円

ウ 他団体との協働事業「BlackRock Kids English Play Labo」開催 (2021 年度は非開催)

内容	他団体や地域社会と協働して、がんの患者とその子どもへのリクリエーション・イベントを企画実施する。今年度もブラックロック・ジャパン株式会社と、NPO 法人キッズドアの協力の元に、がんの親をもつ子どもたちへ英語を楽しく使うイベントを開催する。その間親 (がんの患者とその配偶者、含遺族) はグループワークを実施する。		
日時	(例年は夏)		
場所	(ブラックロック・ジャパン本社)	従業員人員	—
対象者	がんの患者・配偶者・遺族・子ども 0 人 (来年度約 20 名を予定)	費用	0 円

③ がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業

ア Hope Tree フォーラム 2021 事業開催

内容	NPO 法人 Hope Tree フォーラム 2021 がん患者・その子どもにとってのがん教育 ～子どもの力を信じる・引き出す・育む～を開催。がん患者とその子どもに対してがん教育に関する意識調査を実施した結果を報告し、がん教育の意義について考えた。子どものレジリエンスについて実践的研究されている静岡大学小林朋子先生に、子どもの心の回復を促すために、大人たちがどうあるべきかお話いただいた。		
日時	2021 年 8 月 21 日		
場所	オンライン (配信:アーバンネット神田)	従業員人員	5 人
対象者	関心ある方どなたでも 38 都道府県および海外から 216 人	費用	77,380 円

イ ホームページや動画配信による情報発信

内容	あらゆる人を対象としたホームページの運営。患者自身が読み、治療しながら子育てするのに参考になる情報、一般社会に対する普及啓発の内容を含む。新たに動画による情報発信も開始し、現在 16 本公開している。		
日時	必要に応じアップデート		
場所	オンライン	従業員人員	2 人
対象者	不特定多数 訪問者数：44,784 人 (2021 年度累計) ページビュー数：123,322 回 (同上) 動画視聴回数：6,237 回 (同上)	費用	138,774 円

ウ 小冊子による情報発信

内容	2021 年 12 月に「NPO 法人 Hope Tree フォーラム 2020“子どもたちの声を届けたい”講演録 「がん患者の家族を支える 親が病気の子どものための思い」を作成した。PDF を公開するとともに、希望者に発送。「子どもとがんについて話してみませんか」(2019 年 5 月改定)も PDF 公開と希望者に発送。特定非営利活動法人 Hope Tree の支援内容を紹介するためのパンフレット等を発送。		
日時	適宜		
場所	全国	従業員人員	3 人

対象者	不特定多数	費用	677,745 円
	① 「親が病気の子どもたちの思い」 郵送数：977 部（2021 年度累計）		
	② 「子どもとがんについて話してみませんか」 郵送数：442 部（同上）		
	① ② PDF 版参照数：1,242 回（同上）		

④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア がん教育に関する当事者の意識調査

内容	<p>小学 4 年生から高校生までの子どもを持つ患者及び配偶者とその子どもたちを対象に、がん教育に関する経験と意識について、アンケート調査を行った。その分析結果を、ハイブリッドで開催される第 26 回日本緩和医療学会学術大会（パシフィコ横浜）にて報告した。</p> <p>「がん教育に関する当事者の意識調査（1）－がんを経験した親の立場から－」および「がん教育に関する当事者の意識調査（2）－がんの親をもつ子どもの立場から－」</p>		
日時	<p>発表：2021 年 6 月 18 日～19 月（日本緩和医療学会学術大会）</p> <p>※学会での発表終了後、Hope Tree ホームページにて調査結果を公開</p>		
場所	オンライン	従業員人員	2 人
対象者	不特定多数	費用	26,000 円

以上